

平成26年(2014年)3月期 第1四半期決算



現況と今後の展望(業績説明会資料)



株式会社ラウンドワン

代表取締役社長 杉野 公彦

東京証券取引所 市場第1部

Code Number: 4680

2013年8月7日

2014年3月期 第1四半期 連結決算の概要



		単位	2013年3月期 (2012.4~2012.6) 前四半期実績	2014年3月期 (2013.4~2013.6) 当四半期実績	増減
店舗	四半期末店舗数	店舗数	112	113	+1
	四半期中店舗稼働月数	月数	334	339	+5
(億円未満は切り捨て表示)					
損益 (PL)	ボウリング	億円	72	68	3
	アミューズメント	億円	84	80	4
	カラオケ	億円	18	19	+0
	スポッチャ	億円	23	25	+1
	その他	億円	7	7	0
	総売上	億円	207	201	5
	営業利益	億円	22	22	+0
	経常利益	億円	10	16	+6
	売上高経常利益率	%	4.9%	8.1%	+3.3%
	四半期純利益	億円	4	6	+1

【四半期純利益の計算式】

(千万円未満は切り捨て表示)

2013年3月期 第1四半期 (2012.4~2012.6)		2014年3月期 第1四半期 (2013.4~2013.6)	
経常利益	10.0億円	経常利益	16.4億円
賃貸借期間終了に伴う退店損 (瑞穂店：東京都)	2.4億円	セール・アンド・リースバックによる損失	5.0億円
法人税等による調整等	3.2億円	法人税等による調整等	5.0億円
四半期純利益	4.3億円	四半期純利益	6.3億円

【2014年3月期のセール・アンド・リースバックの実績】 (2013年8月7日現在)

2013年6月 福岡天神店 (福岡県福岡市)、2013年7月 加古川店 (兵庫県加古川市)、2013年8月 東大阪店 (大阪府東大阪市)

2014年3月期 第1四半期 連結決算の分析



(単位:億円 単位未満は切り捨て表示)

		2014年3月期 (2013.4~2013.6) 計画	2014年3月期 (2013.4~2013.6) 実績	差額	備考
損益	ボウリング	70	68	1	【経常利益の計画差の要因】 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> (計画) 経常利益 10.0億円 </div> <div style="margin-bottom: 5px;"> 売上高の減少 1.5億円 人件費の減少 +1.5億円 リース料の減少 +2.2億円 その他費用の減少 +2.0億円 営業外収益の増加 +1.8億円 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> (実績) 経常利益 16.0億円 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px; text-align: center;"> 経常利益 計画差イメージ </div>

2014年3月期 連結四半期 実績と計画



2014年3月期 (2013年4月 ~ 2014年3月)

(単位: 億円 単位未満切り捨て表示)

	第1四半期			第2四半期	上期	第3四半期	第4四半期	下期	通期
	計画	実績	差額	計画	計画	計画	計画	計画	計画
総売上	203	201	1	224	428	193	238	432	860
売上原価	180	175	5	185	366	182	178	361	727
売上総利益	22	26	+3	39	62	11	59	71	133
販売費及び一般管理費	4	4	0	3	8	4	4	9	17
営業利益	18	22	+3	35	54	6	55	62	116
営業外損益	8	6	+1	7	16	7	8	16	32
経常利益	10	16	+5	27	38	1	47	46	84
売上高経常利益率	5.2%	8.1%	+2.9%	12.2%	8.9%	0.7%	19.9%	10.6%	9.8%
特別損益	1	5	4	7	8	12	190	202	210
税引前当期純利益	9	11	+1	20	30	13	142	156	126
法人税等	4	4	0	9	13	6	55	64	51
当期(四半期)純利益	5	6	+0	11	17	7	84	92	75
既存店売上高前年比(国内)	5.1%	6.2%	1.1%	2.6%	3.8%	1.0%	+0.9%	+0.0%	1.9%

(注) 本社関連の費用 大部分は支払利息 内訳: 198億円(セール・アンド・リースバックによる損失)、8億円(減損損失)、4億円(アミューズメント基板の除却等)

既存店舗のセール・アンド・リースバックが成立した際には、業績に与える影響を含めて随時開示する予定です。

2014年3月期 連結計画 出店と損益



2013年5月10日開示資料から変更しておりません。

(単位未満は切り捨て表示)

		単 位	2013年3月期 通期実績	2014年3月期 通期計画	増 減
店 舗	新規出退店数	店	3	1	2
	総店舗数(期末)	店	113	114	+1
	【内訳】所有店舗	店	58	28	30
	賃借店舗	店	55	86	+31
	総店舗稼働月数	月数	1,344	1,363	+19
損 益	ボウリング	億円	297	298	+0
	アミューズメント	億円	345	338	7
	カラオケ	億円	83	85	+1
	スポッチャ	億円	103	108	+4
	その他	億円	29	31	+1
	総売上	億円	859	860	+0
	営業利益	億円	115	116	+0
	経常利益	億円	82	84	+1
	売上高経常利益率	%	9.6%	9.8%	+0.2%
	当期純利益	億円	6	75	81

2014年3月期の新規出退店・・・1店舗 レイクウッド センターモール店(アメリカ:ロサンゼルス)

当期純利益の計算式:

【2013年3月期 通期実績】経常利益82.1億円 - セル・アンド・リース・ツクによる損失46.4億円 - 減損損失18.1億円 - アミューズ基板の除却等4.8億円
- 法人税等による影響6.6億円 = 当期純利益6.0億円

【2014年3月期 通期計画】経常利益84.0億円 - セル・アンド・リース・ツクによる損失198.0億円 - 減損損失8.0億円 - アミューズ基板の除却等4.0億円
+ 法人税等による影響51.0億円 = 当期純利益 75.0億円

2014年3月期 連結計画

キャッシュ・フロー



2013年5月10日開示資料から変更していません。

(単位未満は切り捨て表示)

		単位	2013年3月期 通期実績	2014年3月期 通期計画
資金	当期純利益	億円	6	75
	法人税等調整額(引当・納付・還付を合算表示)	億円	3	59
	資金の流出を伴わない損失等	億円	39	210
	配当金額	億円	19	19
	減価償却費(リース取引を除く)	億円	67	60
	簡易キャッシュ・フロー	億円	96	117
	設備投資額(リース取引を除く)	億円	24	17
	保証金の差し入れによる支出	億円	12	0
	セール・アンド・リースバックの実施による資金の増加	億円	106	435
	簡易フリーキャッシュ・フロー	億円	166	535
	現預金残高	億円	253	268
	有利子負債残高	億円	902	382
	実質有利子負債残高	億円	649	114

2014年3月期の設備投資額の概算内訳

- ・約3億円・・・新規店舗(米国1店舗:レイクウッドセンターモール店)
 - ・約14億円・・・既存店舗(一部の改装やアミューズメント基板(キット)購入他)
- 30店舗前後のセール・アンド・リースバックの実施を見込んでおります。

店舗数・損益状況(連結)と既存店売上前年比(国内)の推移



2013年5月10日開示資料から変更しておりません。

店舗・損益の推移(連結ベース)

	2006年 3月期	2007年 3月期	2008年 3月期	2009年 3月期	2010年 3月期	2011年 3月期	2012年 3月期	2013年 3月期	2014年 3月期 計画
期中出店数	11	15	11	13	11	4	1	4	1
期中退店数	0	0	1	2	0	0	0	1	0
期末店舗数	58	73	83	94	105	109	110	113	114
【内訳】所有店舗	29	42	49	61	69	69	63	58	28
賃借店舗	29	31	34	33	36	40	47	55	86

(注) 2006年3月期末の所有店舗には、2007年3月期以降に連結した会社が所有していた店舗を含んで表示しております。(億円未満は切り捨て表示)

売上高	502億円	658億円	779億円	779億円	821億円	843億円	895億円	859億円	860億円
営業利益	127億円	179億円	182億円	136億円	120億円	114億円	160億円	115億円	116億円
経常利益	134億円	163億円	159億円	97億円	78億円	69億円	114億円	82億円	84億円
経常利益率	26.7%	24.9%	20.5%	12.6%	9.6%	8.2%	12.8%	9.6%	9.8%
当期純利益	119億円	97億円	91億円	39億円	33億円	126億円	27億円	6億円	75億円

(注) 2006年3月期は連結財務諸表を作成していないため、非連結額を記載しております(2007年3月期以降は連結額を記載しております)。

既存店売上前年比の推移(国内店舗のみ)

	2006年3月期	2007年3月期	2008年3月期	2009年3月期	2010年3月期	2011年3月期	2012年3月期	2013年3月期	2014年3月期 計画
ボウリング	+19.4%	+7.1%	+1.4%	6.5%	4.0%	3.7%	+0.4%	11.3%	1.9%
アミューズメント	+11.5%	+0.1%	6.8%	10.8%	9.8%	+0.0%	1.1%	10.7%	4.3%
カラオケ	4.5%	+4.0%	1.2%	7.3%	13.1%	+3.4%	+15.8%	3.7%	0.6%
スポッチャ	-	-	16.1%	9.8%	9.2%	4.5%	+7.5%	+0.2%	+3.7%
その他	11.3%	9.2%	+13.2%	+11.4%	3.9%	14.5%	+1.3%	6.6%	+3.5%
総売上	+11.6%	+2.0%	4.0%	8.5%	7.7%	2.2%	+1.7%	9.0%	1.9%

(注) 米国店舗は含まれておりません。

既存ローンの借り換えと資産等の推移(連結)



2013年5月10日開示資料から変更していません。

既存ローンの借り換え

	2009年3月期 実績	2010年3月期 実績	2011年3月期 実績	2012年3月期 実績	2013年3月期 実績	2014年3月期 予定	2015年3月期 予定	2016年3月期 予定
期中借り換え額	約110億円	約128億円	約159億円	約308億円	約54億円	約36億円	約34億円	約46億円
進捗状況	借り換え済み	借り換え済み	借り換え済み	借り換え済み	借り換え済み	既存借入先を中心に交渉	自己資金にて返済予定	自己資金にて返済予定

(注) 上記の借り換え額は、連結子会社を含む当社グループ全体の金額です。

2014年3月期以降は、現在計画しているセール・アンド・リースバックが全て実行出来た場合の金額を記載しております。

なお現在計画中の同取引が全て実行出来なかった場合の期中借り換え額は、2014年3月期184億円、2015年3月期45億円、2016年3月期91億円となります。

資産等の推移

(億円未満は切り捨て表示)

	2007年3月期 実績	2008年3月期 実績	2009年3月期 実績	2010年3月期 実績	2011年3月期 実績	2012年3月期 実績	2013年3月期 実績	2014年3月期 計画
総資産	1,663億円	1,763億円	2,160億円	2,512億円	2,521億円	2,282億円	2,062億円	1,470億円
純資産	618億円	696億円	723億円	856億円	790億円	798億円	787億円	693億円
株主資本比率	37.2%	39.5%	33.5%	34.1%	31.3%	35.0%	38.2%	47.1%
現預金残高	288億円	229億円	215億円	308億円	227億円	294億円	253億円	268億円
有利子負債残高	939億円	985億円	1,179億円	1,388億円	1,361億円	1,109億円	902億円	382億円
保証債務	31億円	409億円	419億円	318億円	82億円			
実質有利子負債残高	682億円	1,165億円	1,383億円	1,398億円	1,216億円	814億円	649億円	114億円
リース債務	258億円	268億円	271億円	259億円	284億円	273億円	228億円	208億円
新規リース契約額	156億円	159億円	145億円	122億円	137億円	106億円	91億円	80億円

(注) 保証債務とは、子会社にて調達した開発期間中のローンに対してラウンドワンが連帯保証するものです。これらは店舗のオープン時期にローンが返済されるため、保証債務は無くなりますが、通常は長期ローンに切り替わる事により有利子負債に計上されます。

2014年3月期計画には、現在計画中及び想定される既存店舗のセール・アンド・リースバックによる有利子負債の減少額を織り込んでおります。

新規リース契約額とは、主にアミューズメント機器やカラオケ設備等の新機種を購入した際に締結するリース契約の金額です。

中期経営計画(2016年3月期まで)



2013年5月10日開示資料から変更していません。

有利子負債の削減 (B/S)

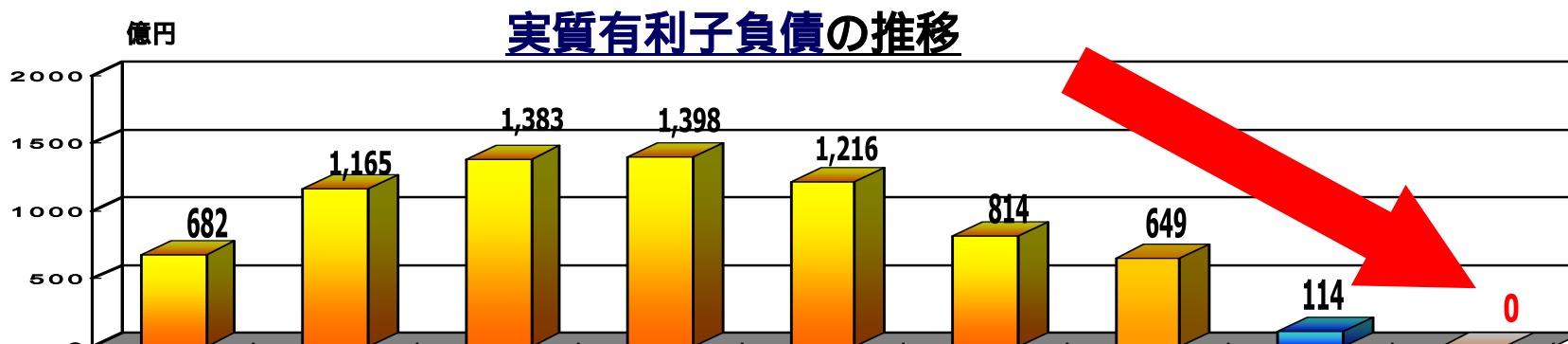
セール・アンド・リースバック(店舗資産(土地・建物等)を売却と同時に賃借)の活用

年間返済額 約300億円：約定返済額 約100億円 + セール・アンド・リースバックの実行による返済額 約200億円

2016年3月期までに実質無借金体制へ

セール・アンド・リースバック実行時に売却損が発生した場合、会計上の特別損失となり当期純利益が減少いたします(税効果の影響により、キャッシュ・フローではプラス面も)。また売却により得た資金が借入金残高よりも少ない場合は、手元資金の流出を伴う可能性があります。

2014年3月期末の実質有利子負債残高が、計画額である114億円近くを達成した場合、翌2015年3月期には税効果の影響もあり、セール・アンド・リースバックの活用なしに実質有利子負債残高はゼロになる可能性があります。



	2007年 3月期 実績	2008年 3月期 実績	2009年 3月期 実績	2010年 3月期 実績	2011年 3月期 実績	2012年 3月期 実績	2013年 3月期 実績	2014年 3月期 計画	2015年 3月期 目標
現預金残高	288億円	229億円	215億円	308億円	227億円	294億円	253億円	268億円	
有利子負債残高	939億円	985億円	1,179億円	1,388億円	1,361億円	1,109億円	902億円	382億円	
保証債務	31億円	409億円	419億円	318億円	82億円				
実質有利子負債残高	682億円	1,165億円	1,383億円	1,398億円	1,216億円	814億円	649億円	114億円	0

経常利益200億円の達成 (P/L)

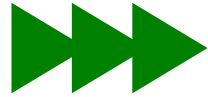
既存店の業績回復へ注力 国内におけるショッピングモール内等への新規出店 北米への出店

ボウリング

オールナイトフリーパス Z

土曜日、休日前夜も利用が可能に

- ・深夜 0:00～コース
- ・深夜 2:00～コース
- ・早朝 4:00～コース



対象アイテム

ボウリング、カラオケ
スポッチャ、ダーツ
ビリヤード、卓球

対象アイテムがお得な値段で遊び放題に！

(店舗により利用時間や料金等が異なります)

「がんばれ！ぼうりんぐ番長！」お試し対戦・チーム戦

全店舗で5ゲームまでの無料対戦が可能に

2013年7月22日よりチーム戦がスタート

子供会プラン

2歳～小学生以下の6名様 + 引率の保護者1名様が対象

お得な料金プラン (楽しい特典付き)

プロショップ商品の充実

ボウリング プロショップ用品の価格改定

大幅な割引価格を導入

詳細は弊社ホームページにてご確認下さい



金・土曜日販売
始めました!!
毎日販売!!



既存店舗対策



アミューズメント、カラオケ、スポッチャ

アミューズメント

期間限定キャンペーン

ボウリング、カラオケ、スポッチャとのコラボ企画

- ・BABYDOLLコラボウォッチ、ビーチボール

新機種を導入

- ・ロード オブ ヴァーミリオン (スクウェア・エニックス)

カラオケ

オールナイトフリーパスZ

- ・毎日ご利用が可能に (P9参照)

期間限定ビーチボールプレゼント

Smart DAM (デンモク) を導入予定

- ・第一興商の最新デンモク (電子目次本) を設置予定
- ・ハローキティのイメージルームの増設を計画

スポッチャ

オールナイトフリーパスZ

- ・ボウリング、カラオケ等とのコラボ企画で複合店の強みを発揮 (P9参照)
- 「劇場版トリコ」いただきますタンブラリーキャンペーン
- ・2013年7月12日より実施中

詳細は弊社ホームページにてご確認下さい



© 島袋光年 / 2013「トリコ」製作委員会

広告宣伝

テレビ番組「BLACK MILLION」放送中

4月よりラウンドワンがメインスポンサーとなる番組放送を提供中

- ・テレビ東京系列にて毎週土曜夜0時25分より放送中

(MC：ブラックマヨネーズ、アシスタント：NMB48)

2013年10月放送分より毎週土曜夜0時20分スタート予定

(放送時間を5分間前拡大予定)

- ・ラウンドワンの施設にて様々なミッションにチャレンジ、賞金100万円を目指してお笑いタレントや一般参加者が出演
- ・取引企業の共同協賛等により費用の低減化



新テレビコマーシャルを追加

80's の音楽を使用したイメージコマーシャルの追加等

(団塊ジュニア世代をターゲット)

「エヴァンゲリオン新劇場版」とのタイアップ企画

広告宣伝や販促ノベルティへの活用を継続



今後の出店



2014年3月期のオープン店舗

オープン時期	出店国	店舗名 / 出店地域	店舗タイプ
2013年 8月3日オープン済み	米国	レイクウッド センターモール店 / カリフォルニア州	スタンダード・ロードサイド(大型モール内)

2014年4月以降のオープン予定店舗

オープン予定時期	出店国	店舗名 / 出店予定地域	店舗タイプ
2014年 春頃	米国	(仮称)サンノゼ店 / カリフォルニア州	スタンダード・ロードサイド(大型モール内)
2014年 夏頃	米国	米国第5号店	スタンダード・ロードサイド(大型モール内)
2014年 冬頃	米国	米国第6号店	スタンダード・ロードサイド(大型モール内)
2015年 以降	日本	(仮称)札幌すすきの店 / 北海道札幌市	スタンダード・繁華街

【注意】

- ・オープン時期及び店舗名は、諸事情により変更される場合があります。
- ・オープン予定店舗につきましては、予告なしに出店を中止・変更する可能性があります。
- ・日本国内の新規出店は、デベロッパー側にて内装を含めた初期投資額の大部分を負担頂ける場合や、大型ショッピングモール内等の十分な収益が見込める物件に限り出店する可能性があります。

米国への出店



米国店舗の現況

2010年8月に第1号店をプエンテヒルズモールへ出店、2012年9月に第2号店をモレノバレーモールへ出店、
2013年8月に第3号店をレイクウッドセンターモールへ出店。

・2013年3月期の2店舗合計の売上構成比 アミューズメント 56.1%、ボウリング 21.8%、飲食 16.7%、カラオケ他5.4%

【現在営業中の店舗】

	オープン時期	店舗名/地域	店舗タイプ
1	2010年 8月	プエンテ ヒルズ モール店 (カリフォルニア州 ロサンゼルス)	スタンダード・ロードサイド(プエンテヒルズモール内) http://www.puentehills-mall.com/
2	2012年 9月	モレノ バレー店 (カリフォルニア州 リバーサイド)	スタンダード・ロードサイド(モレノバレーモール内) http://www.morenovalleymall.com/
3	2013年 8月	レイクウッド センターモール店 (カリフォルニア州 レイクウッド)	スタンダード・ロードサイド(レイクウッド センターモール内) http://www.shoplakewoodcenter.com/

1店舗当たりの設備投資額・・・約5億円(うち約2億円はファイナンス・リースを活用予定)

日本と米国のボウリング市場

	日本	米国
市場規模	約760億円	約70億ドル (約7,000億円; US\$=¥100)
センター数	約900センター (ほぼ民営のみ)	約5,350センター (民営:約4,800センター/その他 (軍・教会等:約550センター)
レーン数	約25,000レーン	約111,000レーン
参加人口 (1年に1回以上ボウリングをする人口)	約1,690万人	約7,100万人

(『レジャー白書2012』を参考に当社による推定値を記載)

【米国のボウリング市場の現況】

大手2社(Brunswick、AMF Bowling)が約400店舗、
準大手が約50店舗程度を運営。
その他のほとんどは家族経営のセンターである。
不況時に強く、ここ数年間は安定成長を継続。
古いタイプのボウリング場は年々閉鎖され、ボウリング
以外のアイテム(ゴーカート、アーケードゲーム、ミニ
ゴルフ等)で複合化された店舗が年間20~50店舗程度
建設されている。
他のレジャー(ゴルフ、釣り、テニス、ビリヤード、
サイクリング、ローラースケート、アイススケート、
マラソン)に比べて参加率が非常に高い。
身近な社交の場として、平均所得者以上の層の利用割合
が増えている。

2014年3月期 全社売上と既存店前年比 実績と計画



全社売上 実績と計画 (連結ベース)

(単位未満は切り捨て表示)

	単位	第1Q	第2Q	上期	第3Q	第4Q	下期	通期
		実績	計画	計画	計画	計画	計画	計画
ボウリング	億円	68	75	145	65	87	152	298
アミューズメント	億円	80	88	168	80	89	169	338
カラオケ	億円	19	23	42	20	22	42	85
スポッチャ	億円	25	29	55	21	31	53	108
その他	億円	7	8	16	7	7	15	31
総売上	億円	201	224	428	193	238	432	860



第2四半期以降は計画値を記載しておりますので、第1四半期の実績と以降の計画を集計しても、上期・下期・通期の計画値とは合致しません。

既存店売上前年比 実績と計画 (米国店舗を除く)

(小数第2位を四捨五入)

	単位	第1Q	第2Q	上期	第3Q	第4Q	下期	通期
		実績	計画	計画	計画	計画	計画	計画
ボウリング	%	7.8	2.9	4.3	0.5	+1.1	+0.4	1.9
アミューズメント	%	9.1	6.0	7.4	2.4	0.1	1.2	4.3
カラオケ	%	0.1	+0.9	+0.4	2.2	1.1	1.6	0.6
スポッチャ	%	+4.4	+4.5	+4.2	+2.8	+3.6	+3.3	+3.7
その他	%	6.3	+4.8	+3.6	+2.4	+4.3	+3.4	+3.5
総売上	%	6.2	2.6	3.8	1.0	+0.9	+0.0	1.9



店舗の状況



出退店の推移

	出店数		退店数		期末 総店舗数
	日本	米国	日本	米国	
	~2004年3月期	45		4	
2005年3月期	6				47
2006年3月期	11				58
2007年3月期	15				73
2008年3月期	11		1		83
2009年3月期	13		2		94
2010年3月期	11				105
2011年3月期	3	1			109
2012年3月期	1				110
2013年3月期	3	1	1		113
2014年3月期		1			114

期末総店舗数の内訳				
日本				米国
スタンダード		スタジアム		スタンダード
繁華街	ロードサイド	繁華街	ロードサイド	ロードサイド
7	34	-	-	-
8	34	-	5	-
8	34	-	16	-
8	34	-	31	-
8	34	-	41	-
7	45	-	42	-
7	55	-	43	-
8	57	-	43	1
8	58	-	43	1
9	57	1	44	2
9	57	1	44	3

7店舗の退店理由（契約期間の満了：5店、近隣に大型店を新築：1店、テスト店舗の閉鎖（テスト期間 約2年）：1店）

2008年3月期に退店した『富士店』は、翌2009年3月期に完全に建て替えを行い、新築リニューアルオープンしております。

エリア別店舗数（2013年8月現在）

出店エリア	北海道・東北	北陸・甲信越	関東	中部・東海	関西	中国・四国	九州・沖縄	アメリカ	合計
店舗数	10	4	33	14	31	8	11	3	114
シェア	8.8%	3.5%	28.9%	12.3%	27.2%	7.0%	9.7%	2.6%	100.0%

各種お知らせとIRに関するお問い合わせ先



本資料取扱上のご注意

本資料は投資の勧誘を目的としたものではありません。また、本資料により被った全ての損害について、当社及び当社の情報提供者は一切の責任を負いません。なお、本資料は作成日現在の情報をベースにしており、その作成には細心の注意を払っておりますが、その内容についてその実現を保障するものではなく、万が一内容に誤りがあった場合においても、当社及び当社の情報提供者は一切の責任を負いません（万が一、数値等に誤りを発見した場合には、ホームページ上にて訂正させていただきます）。本資料のいかなる部分も一切の権利は株式会社ラウンドワンに帰属しており、いかなる目的であれ無断で複製又は転送等を行わないようお願いいたします。

IR方針(サイレンス期間)について

弊社では、投資家の皆様への公平を期するため、原則として決算発表（四半期決算を含む）の約2週間前よりIRに関する取材をご遠慮頂いております。ただし、事業に関する基本的な内容、過去に発表済の内容、及び現在進行中のイベントや企画に関するお問い合わせや取材等はお受けいたします。以上、皆様のご協力とご理解をよろしくお願い申し上げます。

ホームページへのアクセス先

【PC用ホームページ】

<http://www.round1.co.jp> もしくは

【携帯用ホームページ】（お客様用/IR情報等なし）

docomo、Soft Bank、au

<http://www.round1.co.jp/mobile/>



携帯電話からの携帯用ホームページへの接続料や通信料(パケット料)はお客様のご負担となりますので、ご注意願います。一部の機種では、モバイルサイトをご覧いただけない場合がございます。

お問い合わせ先：株式会社ラウンドワン 管理本部 (072)224-5115